

学 内 報 告

学科の近況

令和元年度 機械・材料・海洋系学科長

佐藤 恭一

(平成元年生産卒、工学研究院教授)

今年度は5月1日に改元が行われ、平成（平成31年）と令和（令和元年）の2つの元号にまたがる年となりました。ここで、機械工学系、材料工学系の学科の沿革を振り返ると、昭和60年度（1985）の改組により、工学部機械工学科、機械工学第二学科、金属工学科の3学科が、工学部生産工学科となり、学科内で材料設計、機械プロセス、熱流体、機械システムの材料系1コース、機械系3コースの専門教育の体制となりました。4年後の昭和64年（1989）1月8日に元号が平成に変わり、その年の3月に生産工学科第1期生が卒業しました。次の大きな変化は、平成25年度（2011）の工学部から理工学部への改組であり、機械工学、材料工学の教育のまとまりは、工学部生産工学科から理工学部機械工学・材料学科となり、機械工学教育プログラム（education program、以下EP）と材料工学EPの二つのEPで機械と材料の専門教育を行う体制となりました。平成28年度（2017）年には都市科学部の新設があり、学科も理工学部機械・材料・海洋系学科に組織変更となり、機械工学EP、材料工学EP、海洋空間のシステムデザインEPの三つのEPで次世代の機械・材料・海洋分野に対応できる技術者を育成しています。今年度、4年生は機械工学・材料系学科機械工学EPと材料工学EPの学生、1から3年生は機械・材料・海洋系学科で海洋空間のシステムデザインEPを加えた三つのEPの学生です。また、大学院については、平成30年度（2018）の工学部から理工学部への改組、環境情報学部の組織改編により、理工学部博士課程前期・後期において、機械・材料・海洋系工学専攻が発足し、連携した一貫教育システムによって学部と学部が繋がりました。このように、昭和、平成、令和を通して学科名も幾度と変わってきたことから、この間に、同窓会の名称も学科名の変化の影響を受けることなく永続的に会員に親しまれる「名教就美会」となったとのこと。以降は、名教就美会の学生会員が在籍する機械工学EPと材料工学EPの状況についてご報告いたします。

まずは学生の入口として、本年（平成30年、2019）4月には機械工学EPは110名、材料工学EPは45名の新入生を迎えました。この入学者数は国費外国人留学生を含む人数です。最近厳格になってきている定員管理の面では、学科全体で定員充足率はほぼ100%となっています。4月初旬には、機械工学EP、材料工学EPでそれぞれ新入生歓迎会を開催し、名教就美会からも支援いただきました。

例年8月の猛暑の中で開催していたオープンキャンパスは、今年度から6月開催となり、2日間にわたり多くの来場者に対して模擬講義や研究室紹介がありました。

つぎに学生の出口としては、別添の学科の就職・進学状況にあるように、機械系、材料系どちらも大学院を含めて良好な状況にあります。

本学科はこれまで同様、高い受験率と就職率を維持できています。これは卒業生諸氏のご活躍の賜物と感謝しております。

次に教職員の状況についてご報告いたします。今年度、大学院においては、材料系の梅澤修教授が工学研究院長・理工学部長に就任されました。理工学部においては、機械系の眞田一志教授が理工学部長に就任されました。

異動については、本年3月末には、前川卓教授（機械工学EP）と竹田真帆人准教授（材料工学EP）が定年退職されました。また、諸隈崇幸助教（機械工学EP）、志垣俊介助教（機械工学EP）、古賀紀光助教（材料工学EP）が他大学に転出されキャリアアップされております。また、10月には、機械工学EPで設計製図教育を担当される高藤圭一郎講師が着任されました。10月の時点で、機械工学EPは教授・准教授・講師30名、助教2名、特別研究教員1名、技術職員7名（機械工場技術職員4名を含む）、事務職員2名、材料工学EPは教授・准教授10名、助教1名、技術職員2名、事務職員3名で運営されております。

最後に、9月9日未明に関東地方を通過した台風15号により、教職員、学生への被害はありませんでしたが、機械工学・材料棟入口の大木が根から倒れました。最近の卒業生はご存知かと思いますが、機械工学・材料棟入口横の屋外時計と並んでいた大木です。現在もその木の跡地が立ち入り禁止となっていることを除けば、台風で破損したエアコン室外機の12月上旬の修理完了をもって平常通りとなりました。

平成30年度 機械工学EP 卒業生進路・就職（大学院生を含む）

業 種	会 社 名	人数
大学院進学		97
電子・電気機器	日立製作所、東芝、三菱電機、富士通、パナソニック、ソニー、日立アプライアンス、日立ハイテクノロジーズ京セラ、東京エレクトロン、キーエンス、東芝三菱電機産業システム、NTTエレクトロニクス、タツノ	27
自動車及び輸送機器	トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業、マツダ、いすゞ自動車、日野自動車、スズキ、NOKデンソー、日立オートモティブシステムズ、総合車両製作所、UDトラックス	25
機械	コマツ、日本精工、小田原エンジニアリング	4
重工業	I H I、川崎重工業、三井ESマシナリー	5
建設及びその関連	大林組、三菱重工業エンジニアリング、東洋エンジニアリング、ダイダ	4
鉄鋼・非鉄・金属製品	新日鐵住金、住友電気工業、古河電気工業	3
運輸・通信		0
化学（含ゴム・窯業・紙）	東レ、AGC、JXTGエネルギー、富士フイルム	6
精密	リコー、オリンパス	3
電力・ガス	東京電力	1
食品・医薬品	キリン、日本製粉	2
その他製造業	ヤマハ、オカムラ、デュプロ	3
コンピュータソフト・技術サービス・サービス	アクセンチュア、日本IBMシステムエンジニアリング、ソニー・インタラクティブエンタテインメント 野村総合研究所、IDAJ、コムチュア、MAXISエデュケーション、伊藤忠テクノソリューションズ SHIFT、イースト、日立産業制御ソリューションズ	11
マスコミ・商社・金融・商業		0
公務員その他	JAXA	1

平成30年度 材料工学EP 卒業生進路・就職（大学院生を含む）

業 種	会 社 名	人数	
大学院進学		25	
電子・電気機器	強電	東京エレクトロン	1
	弱電		
自動車及び輸送機器	日産自動車、SUBARU、デンソー、コンチネンタルオートモティブ、いすゞ自動車、トヨタ自動車、ローム、アイシンAW	8	
機械・精密	日本精工、ダイフク、キャノンメディカルシステムズ	3	
建設およびその関連	日揮プラントイノベーション、NTTファシリティーズ、大和ハウス工業	3	
鉄鋼・非鉄・金属	JFEスチール、日本製鉄（旧新日鐵住金）(2)、三菱マテリアル	4	
重工業	住友重機械工業 (2)	2	
情報・コンサル他	アクセンチュア、アマゾンジャパン、日本IBM	3	
その他製造業	TOTO、ニューバランス	2	
コンピュータソフト・技術サービス・通信等	NTTドコモ、ソフトバンク	2	
公務員他	日本品質保証機構、国土交通省（航空管制官）	2	